

少年が見た敗戦、戦後

国内の輸送段階で汚染される可能性はない」と言い切る。
輸入にかかわった日本

判明しそ
中華deごち
餃子
ひとくち
流通経路



まで開けることはない」から「スノーボードをし
(J.Tの岩井睦雄取締役) 市平野二丁目、鉄工所経
という。メタミドホスが ない」と県警山形署に連
検出された商品のうち、 絡があった。県警や地元 口、福岡、広島、三重の

で、三日は休みだった。ほかの五人はいずれも連で、うち何人かはシ

伊人て大谷役員の羽鳥 九四五「昭和二十一年一
「亮さん(76)」村山市櫛 月一日から四六年十二月
山が、少年時代に体験 三十一日まで記した中か
した東京大空襲や勤労働 ら抜粋し編集。二部は天
員などを書いた日記をま 皇とマッカーサー」と題
とめた「十四、五歳の少 し、七五(同五十年)年
年が見た『空襲・敗戦時 戦後三十年を機にまとめ
代』」を出版した。当時 の羽鳥少年の心情や戦争 観などが率直につづられ ている。
羽鳥さんが中学生だっ



羽鳥圭亮さん



羽鳥さんが出版した「十四、五歳の少年が見た『空襲・敗戦時代』」

の百合窓にゆれ「雁(かりがね)や暗き焦土の横たわる」などの俳句も掲載している。

村山の羽鳥さん、体験記を出版 「遺書」…平和の一助に

た十四、十五歳の時、当 た「私の戦後史」の一部 時の思いや出来事などを も掲載している。
二年間にわたり手帳二冊 四五年三月十日の東京 に書き留めた。戦後六十 大空襲で「(当時、住ん 二年がたち、戦争体験者 での遺書」のつもりでま での粉が飛び、リヤカーに とめ、出版することにし 祖母や妹たちを乗せて近 たという。
二部構成で、一部は「空 不安で足が震え、地面が 襲・敗戦日記」とし、一 揺れているようだった」

と恐怖を生々しく表現。 五月二十六日には「焼夷 (しょうい)弾無差別攻 撃を忘れるな。非戦闘員 を焼き殺す米軍の暴虐を 忘れるな」とつづってい る。
終戦の八月十五日には 「ポツダム宣言受諾にシ ョック。日本が負けたの く「沖縄陥(お)つ一輪 3015。」

かと思うと、とめどなく 涙がこぼれた」と率直な 気持ち表現。十二月十 六日では「アメリカ兵は 太って楽しそうに歩き、 日本人は見るからに汚く ガツガツ物をくう。そう いう僕も雑炊をガツガツ いう。また、俳人らし く「沖縄陥(お)つ一輪 3015。」

「天皇とマッカーサー」 では、連戦連勝を報じる ニュースが流れるたびに 地図を開き、占領した諸 島に日の丸を書き込んだ 思い出を紹介。現在の憲 法について「平和憲法が あったからこそ、日本は 戦争に巻き込まれず、曲 がりなりに軍国主義の 復活を何とか阻止してき たといえる」と指摘して いる。

関東地方を中心に降った三日の大雪のため、四日未明に首都圏の高速道路で事故が相次ぎ、通行止めなどが行われた影響で、全日空の乗務員の羽田空港への到着が遅れ、羽田発内行き893便の出発が一時間六分遅れた。折り返しの896便にも一時間五分の遅れが生じ、乗客計百三十八人に影響が出た。全日空で

乗務員が遅刻 庄内便に遅れ 関東地方を中心に降った三日の大雪のため、四日未明に首都圏の高速道路で事故が相次ぎ、通行止めなどが行われた影響で、全日空の乗務員の羽田空港への到着が遅れ、羽田発内行き893便の出発が一時間六分遅れた。折り返しの896便にも一時間五分の遅れが生じ、乗客計百三十八人に影響が出た。全日空で



三日午後一時半ごろ、スキー場の別の従業員が恐羅漢山(二、三四六)にスキーを持っていると



二、四円以上の



小5男児が

前九時五十分ごろ、死亡